

動画コンテンツと実験のコラボレーション

—BB バケツと VOD コンテンツを用いて—

株式会社 学習研究社 文教事業部 教育コンテンツ課 長岡 平助

1. 動画コンテンツについて

ネット上には幾千幾万の動画コンテンツがありこれを活用すれば良い、という認識



教育用として適切か否かという判断の欠落

- ・画質は？（三国軍事同盟及び、様々な圧縮を施した動画コンテンツをご覧きます）
- ・本当に有用な動画コンテンツとは？（沖ノ鳥島とアルコールランプの動画コンテンツをご覧きます）

写真1 沖ノ鳥島



写真2 アルコールランプ



2. 動画コンテンツを用いるにあたっての誤解

- ・授業や実験（直接体験）の安易な代用であり教職員の怠慢ではないか？
- ・機器主体の授業に成り下がり、児童・生徒や教職員といった本来のそれが損なわれる。
- ・画一的な視座を植えつける



これ等は全く根拠のない誤解である。ここで問われているのは動画コンテンツを供給するフォルダー側の意識と、教職員側の授業構成員力ではないか？

3. フォルダー側の意識と教職員側の授業構成員力

3.1 フォルダー側（弊社）の意識

授業ですぐにしかも簡便に用いることのできるソフト・システムの開発。その際、特に検索と動画コンテンツのカスタマイズを重点に置く

（1）GAKKEN コンテンツ検索ソフト

写真3 「検索ソフト」先頭画面

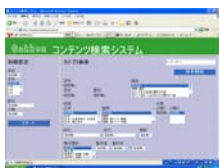


写真4 「検索ソフト」結果画面



（2）BB バケツ

写真5 「標準レシピ」



写真6 「標準教材」



☆動画・静止画を自在に「標準教材」「標準レシピ」という雛形に貼り付けることができる。もちろん自作も可能。
尚、視聴はMPEG-4ストリーミング

3.2 教職員側の授業構成力

- (1) どこで何をどのように見せるのか
- (2) 動画コンテンツは道具であるという認識
- (3) 想像力の呼び水としての動画コンテンツ

4. 動画コンテンツを用いた実践事例のご紹介—VODコンテンツとBBパケッツを用いた実践事例—

4.1 岐阜県瑞浪市立稲津中学校田中正己教頭 中学校理科「圧力」

→直接体験とそれを「普遍化」するための動画コンテンツの活用にご注目下さい

写真6 授業風景（実験）



写真7 授業風景（コンテンツ1）

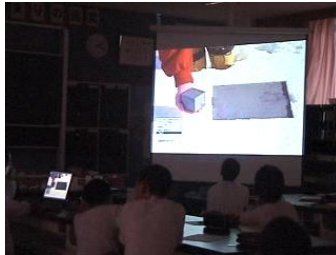
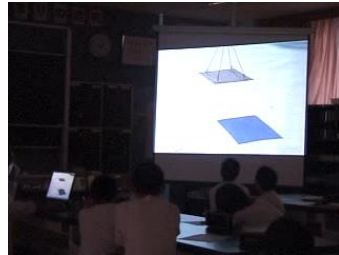


写真8 授業風景（コンテンツ2）



- ・紙コップ1個を踏む→任意の生徒に踏ませる→潰れる
- ・紙コップ複数ではどうか？→グループ学習→潰れない
- ・発問「なぜ潰れないのか」→圧力とは何かを考えさせる
- ・動画コンテンツを用いて実験結果の「普遍化」をはかる（適宜一時停止のうえ発問）

4.2 大阪府高槻市立丸橋小学校竹村美徳教諭 親子理科実験教室「タマゴローソクを作ろう」

→様々な理科のエッセンスを加えながら動画コンテンツを活用する様子にご注目下さい

写真9 タマゴローソク



写真10 授業風景（実験）

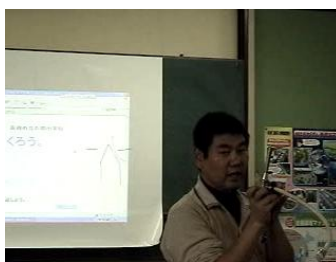
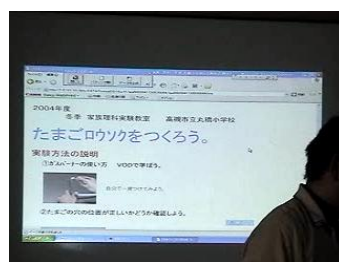


写真11 授業風景（コンテンツ）



- ・「タマゴローソク」の作り方をあらかじめBBパケッツで作りにこんでおく
→ガスバーナーの使い方の動画コンテンツや実験の際の注意点、その静止画を張っておく
- ・ガスバーナーの使い方をその「解体」を通して考えさせる
- ・動画コンテンツを通してガスバーナーの使い方を復習。適宜止めて画面にペン書きさせる